

平成23年度 京都教育大学「学生表彰規程」による表彰者

研究活動

➤ 今井 駿 (イマイ スグル)

教育学部 理科領域専攻 4回生

【表彰理由】

平成23年度日本理科教育学会近畿支部大会のポスター発表部門において学生・院生発表賞を受賞した。発表論文は「マイクロスケール実験による化学繊維の合成実験の教材化」で、高校における化学教育の改善に資するものであり、同時に本学の理科教育に関わる質の高さを賞するものである。

➤ 佐藤 真輔 (サトウ シンスケ)

大学院教育学研究科 理科教育専修 1回生

【表彰理由】

平成23年度日本理科教育学会近畿支部大会の口頭発表部門において学生・院生発表賞を受賞した。発表論文は「高校化学における電気メッキのマイクロスケール実験 - ニッケルメッキ・銅メッキなどの教材実験を例に - 」で、身近な科学技術であるメッキを対象に教材開発を行い、さらに高校における授業実践を経て、その有効性について検証されたものである。

課外活動

➤ 九鬼 靖太 (クキ セイタ)

教育学部 体育領域専攻 4回生

【表彰理由】

天皇賜杯第80回日本学生陸上競技対校選手権大会(平成23年)において男子100m競技に出場し、10秒74の第4位の成績をおさめた。

社会活動

➤ 京都教育大学体育会

【表彰理由】

深草丘陵の一角の大岩山はゴミの不法投棄が大きな問題となり、地域の環境整備団体による清掃活動が行われていたが、家電製品の片付けや大木の伐採が課題となっていた。本学体育会がゴミの回収、荒廃竹林の整備、遊歩道の整備、展望所の設置など平成 21 年から平成 23 年にかけての継続的な活動が、京都ならではの環境との共生や景観の創生を目指した活動に率先して尽力したと平成 23 年度に京都市から表彰を受けた。

➤ L a c t P r e n - F u k a k u s a

【表彰理由】

地域の組織と共に深草の里山である大岩山の整備、稻荷山南麓におけるビオトープの整備や、高齢化と過疎化が進行する北区の「小野郷」において、平成 22 年から当地の N P O と連携して地域活性化活動に現在も携わってきている。平成 23 年度に京都市から大学や学生が持つ力を生かした新たな交流の創出や地域の活性化につながる取り組みが、より京都のまちの魅力向上に多大な貢献をしたと表彰を受けた。